

## 寒かったけれど楽しかった水沢地区歩け歩け大会

2歳から72歳まで参加者60余名

雨上がりの強風でしたが市民センターを出発、千歳池、足見田神社を経て三本松薬師堂で休憩。

谷町の弘法杉など史跡を巡り少年自然の家で宝さがし。

沢山の景品を見て大ハッスル。「見つけた!」「あった」と林にひびく声。

楽しい昼食で暖かい豚汁をいただき、体もポカポカ。

午後は星の広場に移りグラウンドゴルフ。

途中摘んだ「よもぎ」「つくし」やゲームの景品を手に

楽しい一日をすごした。



3月22日水沢地区体育活動推進協議会主催の行事で元気に歩く参加者の皆さん。

## 堂の建設資金に五百両

南北朝の時代となりそのころ本郷に時折訪れるお坊さんがいた。名前を円霊といい、日常のことから人間の生き方までいろいろと教えてくれるので村人は大変尊敬していた。

ある日のこと「みんなが一緒に住んでおまいりしたり、話をしたりするところがほしいのやがどうじゃナ」と村人達に話しかけた。みんなは「そりやええことやけど、どんなものを建てるのかナ、その元手が大変じゃ」「そりや大金を要るでお上に頼まんと出来んナ」、その後話はトン



K・M

私は、六十歳の男性ですが、今回のゴミ処理研修会に参加してゴミ処理には、大変お金が使われていること、また多くの人手で仕分けされ、苦労

に苦労をかけて再生され、新しい製品として生まれ変わることに驚き、感銘を受けました。

今年4月からリサイクルの法律も施行され各地で厳しい取り決めをし回収に努力を重ねていることが日々報道されています。

これから水沢地区内においても、もっともっと勉強会をしてみんなでゴミ処理について考えなければならぬと思っています。

限りある資源を大切に環境にも配慮したゴミとの取り組みを、みんなで考えようではありませんか。機会があれば自治会で勉強会などを催していただき、ゴミのリサイクルに地区民で取り組みたいものです。



ば自治会で勉強会などを催していただき、ゴミのリサイクルに地区民で取り組みたいものです。

トンと進んだが、さてその資金をどうやって作るかと和尚さんは日夜思索した。口では簡単に言っても大金の資金作りになるとそうは思うように進まず苦労の連続であった。

東奔西走難儀を重ねること数年、やっと上京して御家人にお願いすることとなり、時の將軍足利義満に請願。後龜山天皇元中元年(一三八四)十月、堂の築営資金として金五百両の大金を下賜されることとなった。

以下次号へ



水沢郷土史研究会 清水 武

## 雨量の観測いつまでも

四日市市水沢町水位観測業務功労にて  
勲六等瑞宝章を受章

宮妻町 鎌田長寿さん

昭和30年に鈴鹿川の河川工事に従事していたころ建設省から雨量観測の仕事依頼された。

約40年間、1日も欠かさず鈴鹿川水系内部川山の坊雨量観測所観測員として自宅の庭で雨量を測り続けてきた。

毎朝9時きっかりにピーカーにたまった1日分の雨量や温度、風向、風力、天候を記録する。

伊勢湾台風の時、町にはまだ電話が1台しかなくて建設省への連絡に何度も往復した。

7、8年前の集中豪雨の時1時間に110ミリも降り、夜通しピーカーを取り換える作業に追われた。

正月も盆も休みもない。奥さんとの泊りがけの旅行は、たったの1度。「私なんかが、こんな立派な章をもらっていいのでしょうか。」と謙虚に笑いながらも「家族の協力があつたから続けてこられました。これからも命の限り観測は、続けていきます」と語ってくれました。



建設省山の坊雨量観測所  
建設山の坊局

## 私の中の歴史

森 篤子

私が、アメリカ、カナダに旅したときのこと。

最終日に訪れたウエストポイント地区の戦争資料館所蔵の数多い戦争資料の中で、脳裏に焼き付いて離れない次の2点の事柄を紹介致します。

焦土と化した長崎の写真が添えられた、カーキ色の長崎に投下された物と同じ一メー

トル位の物「原子爆弾」を、不気味な思いで見えたこと。

そして敗戦の時、ズーリ艦上で調印された重光葵のサインが、はつきり記された降伏文書を見たとき、私の目前で時代が一変に逆戻りしました。

顧みれば五十年前。アメリカに戦を挑み、コテンパンに打ちのめされた私達の世代が何の不安も感じずアメリカ旅行を楽しんでいる不思議さ。

多くの人種を抱えながらも議論を尽くし、同化していく

瞑想の

険に浮かぶ

八一五



# ごみごみごみごみごみ



今年の4月1日からリサイクル法が施行されました。現代は、法律でリサイクルを規定しなければならないほどゴミがあふれている。まさに「ゴミ氾濫の時代」なのです。

辞書には「ゴミ」は、「こまごまとした汚いもの、ちり、あくた」と書いてある。人はゴミを目につかない所へ追いやり、見えなくなったらそれで良い。しかし、その「ゴミの山」がどこかに築かれているのです。

修理したり手直しするより買った方が安い時代だからどんどん新しいものを買い、そして「ゴミ」として捨てるのです。

これが時代の趨勢なのだろうか。これを繁栄と言ったのだろうか。今回はリサイクルについて考えてみました。



## リサイクル追跡調査に参加して

Y・Y

私が、子供のころは、一升ビンを持って醤油や酒を買いにいったものです。店ではタルから升に計って売ってくれました。今のうちに「再生」というのではなく「再利用」

こと。

「地球を大切に」この言葉の中には本当にいろんな意味が含まれていることを私達は考えるべきです。

E・K

毎晩洗った物を終えて最初に私の目をひくのがゴミ箱一杯のゴミ。生ゴミはまだ自然に



かえるけれど、トレイやポリ発泡スチロール等、私達の手では自然にかえす事はできません。

ビンや缶は再生利用できますが、リサイクルするために、私達一人一人がゴミを分別するところから始まります。私達は目の前からゴミが消

えてしまえばそれで奇麗サッパリ気分爽快。

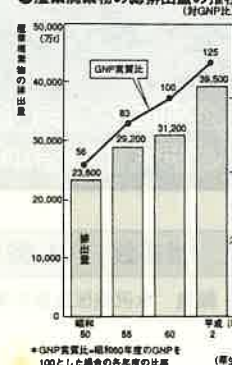
でも、ゴミは空気中に消えたわけではなくて、ただ移動しただけなのです。燃えるゴミと燃えないゴミ、埋め立てゴミか再生ゴミか？ゴミを分別する事が一番大切なことだと思います。

分別することによって、大切な地球の資源をつかってつくられたものをまた、利用できるのです。

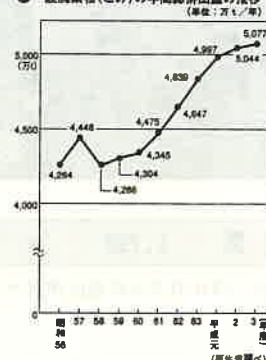
もう一つ大切なことは、ゴミをつくらないことだと思ひます。

狭い日本です。埋め立て

●産業廃棄物の総排出量の推移 (単位: 千トン)



●一般廃棄物(ごみ)の年間総排出量の推移 (単位: 千トン)



できる場所もなくなっていくます。

ゴミの分別からはじめて再生できるものはリサイクルへ自然にかえるものは自然へ。私達の住み良い環境をつくるためのちよつとした努力が地球を守っていくことにもつながっていくのかもしれないと感じたリサイクル追跡調査でした。



## 情報

様でした

んは、四十年間として活躍され、勇退されました。の社会活動に寄功績は多大なものです。3月11日、自治会から感謝した。  
「永い間、ご苦労さまでし

た」ここに厚く御礼申し上げます。



## 危険交差点に

### 信号機新設

昨年十二月二十五日から、日永宮妻峽線バイパス西條交差点に信号機が設置されました。見通しの良さに反して事故が多発。その多くは交差点内で起き、死亡事故もありました。西條町の森千石氏は、交通事故解消に深いご理解をいただき、信号機設置に伴う道路拡幅と、貴重な用地を無償提供さ



れ、一挙に工事が進み交差点改良と同時に信号機が設置されました。信号を守り、注意して通行しましょう。

## 横堀町公会所完成

町内の皆さんが、待ち望んでいた公会所が三月末に完成しました。町内の交流の場として、末永く活用されます様に敷地面積が495㎡、建物面積75.9㎡、総建設事業費一五〇〇万円

竣工した  
横堀町公会所



## 生活改善運動

ご寄付ありがとうございました  
ございました

水沢地区社協では、地区の方々から寄せられた「生活改善運動」の寄付金などを、町民運動会や地区文化祭などの地区行事に、また青少年健全育成事業や地域の環境づくりなど、広く有意義に活用させていただきます。

平成八年度は十三名の方から総額五十六万五千円を寄付していただきました。ここに厚くお礼申し上げます。

今後とも「生活改善運動」などに温かいご協力をよろしくお願いします。

十月一日以降ご寄付いただいたのは、つぎの方々です。

- 原 正人様(茶屋町)
- 堤 利道様(谷町)
- 光本 秀則様(東町)
- 豊田 佳史様(西條町)
- 毛知 橋雄様(水沢野田町)
- 松下 巖様(本町)
- 佐藤 昇様(四ツ谷町)
- 森 幸美様(本町)



リサイクルは「暇な主婦が年配の人がやる事、やれる事」と言うイメージがある。もちろん無関心という訳ではない。

ペットボトルの回収や再生紙の使用やと知らず知らずのうちに様々なリサイクルが目にはいる。

しかし、回収といわれても忙しい人にとってはいちいち食べたり飲んだりした後の容器を保管して回収場所にもっていくなどと言う事は面倒で

しない。「まーいいか」と捨てるという具合である。少し前にも割り箸についてのリサイクルの話聞いた。このままのペースで割り箸

結句いつも同じなのだ。きつとみんなこうなのだと思ふ。

リサイクルの大切さ、環境保護等の大切なことはみんなわかってはいる。

## ゴミ問題 考えてはいるのだけれど

を使い続ければ森林伐採がすみ、森がなくなる。と

これは大変だ。すぐ私もそう思った。しかし数時間後コンビニでお弁当を買って割り箸をつかってそして捨てた。

でも、そのために自分達が何をしたらいいのかが、わかっていないのだ。

その方法、協力の仕方が明確なら、もう少し行動の進歩が見られるのかもしれない。

また、一度使用したものをもう一度使う事が大切なようにとらえがちだが、もともとある資源を大切に使用する事の方がもっと重要なのではないだろうか。

ごみをださない努力は、リサイクルよりも重要なのである。

OL 二十三歳

リサイクルが、重要であることはわかっていてもなかなかできないのが現実かも知れない。

だからといってほっておける問題ではなくなっているのも事実である。

編

